



采根七湯藥

二

ル 4
1124
2



1124
2



管根七湯蔡卷之二

湯本之部

目錄

- 一湯宿並効驗
- 一湯本の記並全圖
- 一早雲寺事蹟
- 一惣湯の圖
- 一宗祇法師の夏湯宿

福住九藏
羨濃屋林蔵
内田屋友蔵

小川万右衛門
柏屋平四郎
小笠原屋喜兵衛

万屋半兵衛
鎌倉屋治兵衛
大和屋傳兵衛



田中屋三四郎

江戸屋友藏

但し福住小川の糸ハ小岩と留へて療容皆熱湯と
しよる湯を是小川福住内湯とよ阿りて病若き
道ハ

効験

脚氣	まら氣	骨痛	痔疾	瘡毒
田疇	水む	かきぐ	疝氣	腰痛
赤びき	切麻	灸萌	中風	赤身
冷症	くらぢき			

湯りよの記

北村季吟の墨跡

相換因宮根温泉ハ白山妙理権現立せり(乃新な
まハその神カとわつて諸病悉除のきり)と云
こハ湯ハ湯をこれハ身延命の樂保(とま)と云

変なりハ湯市ハ小田原の西十里斗行而山保(水清
く高代も動カを兒岩根ころ)子世も葉り(女
雲)と云りふりて放光堂のり運慶法師がつく
地蔵菩薩と安産(ま)世界乃容生の誓た(と)
おハ(ま)東(ま)三岐橋とわ(り)石(の)か(り)の小原峯
ま(ま)富士岩換(り)り其(と)り時(と)りぬ(石)の不二の根
ほ(の)え(り)の(り)放(り)か(り)ん(名)つ(け)あ(り)な(り)小(の)橋(の)峯(西
を)越(山)め(づ)り(と)ま(ま)山(本)下(り)涌(出)る(湯)谷(ふ)れ(英)京(目
と)悦(ハ)し(の)心(と)磨(ひ)り(事)誠(り)養(性)乃(不)可(計)下(り
彼(妙)理(権)現(ハ)天(地)ろ(と)色(と)り(先(て)女(神)男(神)の(ま)れ
初(中)の(い)ざ(り)お(ま)の(き)あ(て)お(り)ま(ま)本(地)十一(面)觀(世
音)め(る)善(丹)ハ(た)の(り)於(え)西(天)宮(の)養(を)年(申)下(り
泰(隆)大(徳)越(路)の(白)山(下)り(訪)ふ(傳)り(ハ)に(権)現(示)

ろくろの我と伝致するもの此をかるく我と降ん我
かつらと見よとく宣ひく九ツの川の於地不現
多きひ志づりて十二面観音妙相端巖より
清きれさせぬ春院感涙と戒ひく付至り今新く
いよ色かこきこきと集るるも相もまらぬ
願の像法東法の元生か大悲と面て常く救ひおこ
ませとやささめぬいよ色か黄金冠と勅しうれ
つさ川のひき靈瑞いとくちぶるる一重武帝の天年
八年下り龍瘡の元を有る上下はふいひあがり
よお月やけより春院を勅して十二面観音の法を修
せし先ぬりく丑歳の日ハ流るるをいひとすぬか
こころをけりく流はく一方と戸さぬ園の東に
彼えやと止びけりれぬ春院の神は淨を即行者

とくろ有ると即行者と西の玉淨乞と音毒のかけり
そのうちをりく後おさめむく世の中の十八の
し止ぬ天平十年に淨言けりく淨社と云く白山
権現と教済り十一面と刻り又十二面の修法を修
りし妙心のいそぬ忽ちり製る温泉涌出長く能人
の養薬とけたりぬ九百十年と淨る今の平安此
都後柏原院のち永の初月く山永の氏流のぬ
柳のり正宗大隆福師とむくけ地り子雲
寺城立妙温泉のこころなく雲のけきあさ
と電して浴室とせむく開たり信く金湯山
三つ中ころ久くけ湯寺化る属りて試る表
て後又官地なるぬかえけ里氏のお名も
教有りりく後八人理本の人志れぬ而たり淨言とこの

湯のさう〜河もゆくとさう〜つら〜つら〜い流つ〜きを
人來あつ〜まら〜家毎〜歩後人と名〜其利〜
り〜ら〜か〜う〜ひ〜里〜と〜門〜の〜煙も湯の煙
をさ〜ひ〜つ〜煙〜の〜樹〜と〜り〜ぬ〜天刑の病人の金〜
あが湯あ〜こ〜れ〜が〜この湯愛〜して水〜となりぬ人〜と〜
今月のあ〜り〜る〜終〜而〜なりを〜ハ〜この湯の靈ある〜
〜と〜ぞ〜も〜あ〜の〜づ〜ら〜ら〜ぬ〜庵〜を〜さ〜せ〜せ〜
〜と〜湯あ〜ら〜ひ〜山〜を湯坂〜と〜か〜の津の国有るの湯
ハ〜三輪の神垣〜と〜さ〜ひ〜く〜醫王菩薩の勝地なり木
の湯の湯の湯ら〜白山権杖の霊跡記書〜慈徳此志
通〜と〜い〜〜〜病と心〜と〜さ〜の枯系と〜と〜
免〜と〜豊草原と〜津不の園〜と〜その縁と〜と〜月日の

免りのま〜と〜通ひた〜と〜〜と〜秘と〜と〜あ〜り
彼羅山の温泉ハ素白の湯を流〜と〜ん〜と〜神女
のま〜り〜と〜伝〜人〜大〜光〜と〜ハ〜の園よの〜と〜あ〜と〜
〜と〜日〜と〜と〜の〜と〜日〜と〜に〜ち〜と〜と〜ら〜ら〜ら〜
〜と〜と〜と〜あ〜ひ〜て〜と〜と〜と〜業と〜と〜と〜陽徳の神〜
〜と〜と〜と〜記書ハ慈徳と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
〜と〜と〜と〜海〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
元禄の二と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜
〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜

湯本全圖

熊野權現

惣湯

小川内湯

福住内湯

湯本ヨリ
三枝橋道

前通七湯本
道湯本一後

茶花碑



金湯山早雲寺

湯の村より河を隔てて禪宗浄土家金湯山の額ハ朝鮮國
 書澤の年をとり方丈の額同奉中なる新近仏より用
 山古西宗大隆禪師申頼任勢新九郎長氏より後拍
 系院永正十六年の建立又寺中に少宗五代の墳並小
 室藏法師の墓あり又代少宗の墳名なきもる

永正十六年 巳申
 早雨玄寺殿 天兵瑞公大居士

新九郎長氏

天文十年 壬午
 春松院殿前 尤京兆快翁活公大居士 相摸守氏 綱

元龜二年 未年
 大聖寺殿 尤京兆東陽岱公大居士

氏康

十月二十日
 天正十八年 庚寅年
 慈雲院殿前 尤京兆勝岩傑公大居士

氏政



須雲川

須雲川早川
 一ツ三ツ三
 枝橋工落ル

天正十九年甲午
松巖院殿前充京北大圓徽公大居士

十月初四日

氏直

棹石つまご高サ四尺中を尺斗にて蓋石なく昔む
てころり懐古の情おろぬ新九郎長氏りいハ伊勢平
氏の末裔なりて桓武帝子丑の皇子葛原親王の末孫
平清盛の後胤なりて相州小田原の城主として威八
州ころりさ地く善徳寺と浄土院長氏校ヶ園と以
て判發して早雲庵王宗瑞と号し九十歳あり
卒はけ所り葬るる子女綱氏康氏政氏重まき
又代のり園ハ石と依り没後塔この寺に葬れ小田
原の城主長の前ハ大森筑前守憲頼入道兼西庵りた
りらり天正十八年ありひくくあり大久保家
領之慶長十八年ありてび所南城となり後寛永九

稻葉家より給り貞享三五年にび大久保家より
て代り領之

宗祇法師の事

宗祇法師は文明のころの人あり紀州の壽なり
姓冬之吾氏と飯尾とひひ号しと見印齋又不取
亦といふ洛陽より心教信都の門下となり東
連齋の宗道あり心く世宗法ありりりりり東野
常縁に付く古今傳事と宗祇法ありりり古今集
法三條道遠院實澄々々々々々々々々々々々々々々
之光院実枝の細川法市玄旨幽齋八条智仁親王中
院通勝入道之長軒と法ありりりりりりりりり
まりりりり又牡丹花堂拍紙巴等もこの門下りあり
人々なり

宗祇法師辞世とくまれり
その時〜や春のころの物もたらとれぬ
身も〜と

宗祇法師の墓とて
石塔とて〜
早曇寺見古

雪中庵
嵐雪

早曇寺見古

暇元喬

臺殿松杉入雲翠
巋然獨存知何寺
云是黃金長者園
唯有青苔布滿地
古木森々歲月長
野人為説全盛夏
綺羅春殿旧時花
墓草碑苔冢累々
空伴名号列
丑公剝石一着皆淚
懷昔永正
龜元中天下車書
久不同萬邦
瓜割有海沂
東累世子孫
功業絶八州
木共偃風

大城列峙精兵饒
畫標金甲夜鳴弓
氣麓山岳凡雲起
勢捲波濤江海通
何意中原出霜王
一旦前驅入封疆
石垣山上臨
園境震擊天雷不可障
計窮面縛非瓦解
城池社稷共喪亡
即今四海日月
新此地為餘
供香人関門行路通
大嶽吊古且過溪水濱
野房山橋無情甚
往來屢送馬蹄塵

一湯りし臺の茶屋伊豆屋とて
分換物細工の諸品
と高く築く
園のわき古叢並り
源泉家河通
川の河下りり
あゝ色紙二葉と
祈願書

伊豆屋古谷の圖

此所カケル

此廻り一尺八寸五分



口渡り
四寸二分

此所カケル

大ケ七寸六分

五八古備前ノヤク火焼ノ

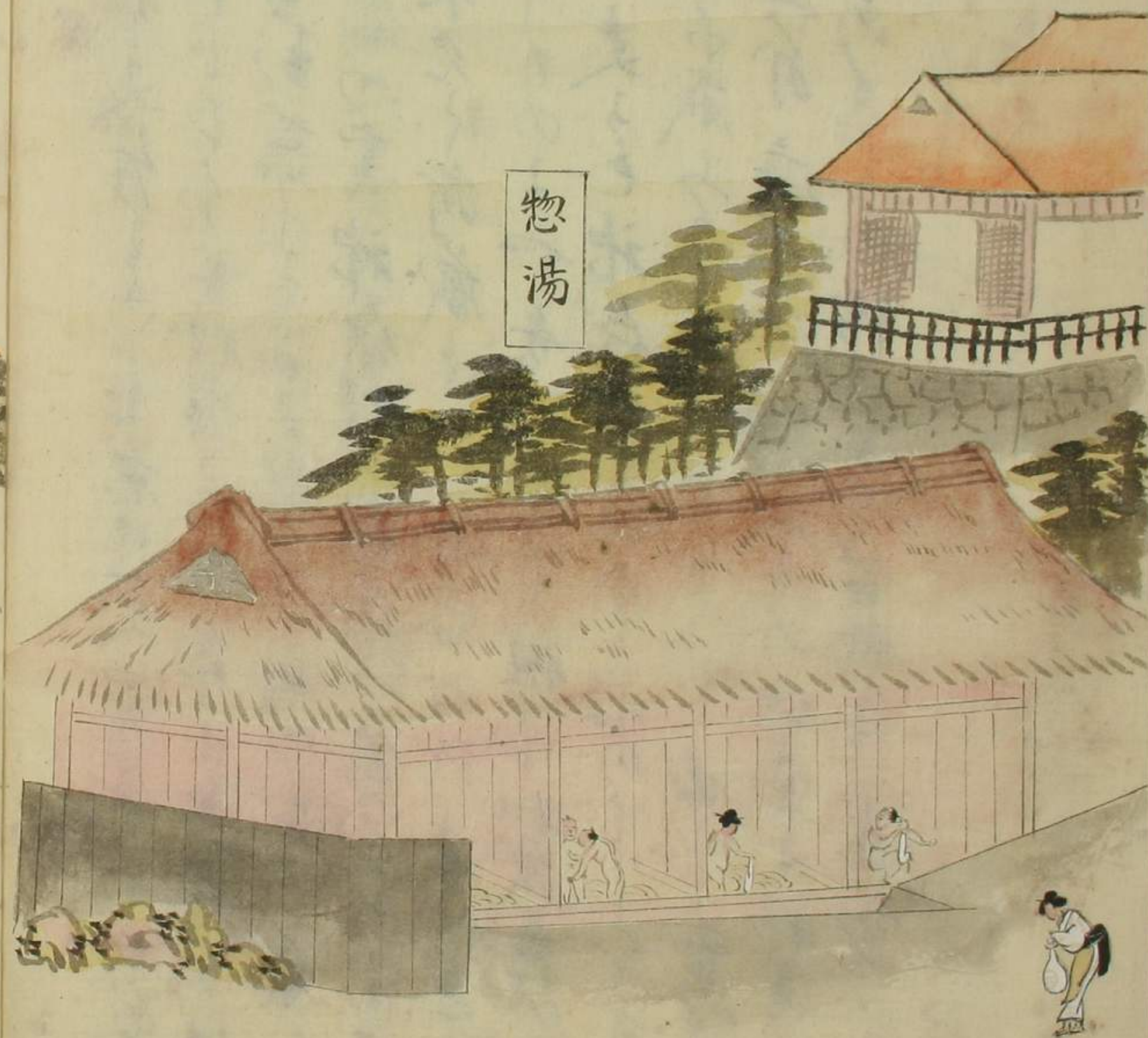
け蓋ハ正徳二年の春仙石系湖水の奥より神代
板あり古人の飯の本を海まで堀りて一板た
まら板あり古くは渡末口の所より一丈六尺余あり別
よりの神代板ありカヤを以て危角にして堀りて

に之り又古より一末口一丈六尺斗の板の古根
あり是をともまら子松明とておとせ油く造る
き古穿ちあせしとて之りより圓の如き壺を造り
せしとていつや神代板の板高や家なれしもの
同傳く米免く所藏といひ古器時代且何世の事
は用ひしものもや各へごし但一か後箱の海書
阿達ともまらと神代のものなれしとてとれり
づき敷子蔵あり物なれり古く古雅なり
形なり其外壺ふと類しものけ蓋より造り速り
おつりとありの語りも古物より蓋阿の法空
しとて

熊野権現



惣湯



冷泉為村卿御詠

何はうの心やのちうの年やあ
いつ湯の心よのささしほひき

同為泰卿御詠

多記て心そとまれのや
湯の心のささしほひき

この熱湯は徳野権現の山と小川の敷居との間にあり
湯つがわりの仕切のあつた子やまのりけり山つらひ
と廊下と志向のひと湯の心よのささしほひき
来りし湯の心よのささしほひき
又湯の心よのささしほひきの上段の顔より宗一が筆の
小顔とくけたるそのうけりたりとる人

湯泉亭

春あき乃任
あはしほひき
あはしほひき
あはしほひき
湯の心よのささしほひき

無林亭養泉氏
園

一神は新ハ地境赤野々けくわい子川流くわぐり南ハ漢
雲川ゆやちりも流ま来くけ思ま〜一川と合はこ〜は
還りり僅五丁のより道なれに登りわりのこひ人も一秋の
浴湯く千里の勞脚と愁ひ又ハ伊勢大木の謙中五六十の
一ひも二群も集ひ来り〜まひあ〜河〜とよ古まを送り
夕那と新り〜きをむ〜らさぬは網の湖〜なるひつ〜
其ハ枕物細工と名存とけを以ハ細密なる細工と作りかて
繕方すの中ハ女子人形を〜あま〜也〜り細心別〜老の
茶を〜り〜枕りの高ハ家多〜又伊豆や〜り〜奥
庭〜枝系八九間も〜ひ〜り〜梅の大樹河〜
東海道名新園後〜載せ〜多〜天〜今ハ枯ま〜終〜若
木の梅ハ種つ〜り〜
管根七湯蔡二の巻終

